

～誰も取り残されない。みんなが主役の社会へ。 第2弾

町ではみんなが支え・支えられる『地域共生社会』の実現に向け、行政・地域・団体などの取組を『愛荘モデル』として発信しています。難しいことはありません。大切なことは楽しむことです。今回は取組を通じた皆さんの笑顔を集めてみました。

とにかく楽しく！ 松尾寺南地区で高齢者の健康づくりが始まりました

国のスポーツ庁の先進事例にも選ばれた高齢者の「健康元気もりもり教室」も、今年度で6年目を迎え、町の名物事業となりました。

また、地域包括支援センターの事業として、毎年2集落程度で悠々教室を開催し、認知症予防を中心に健康づくりに取り組んでいただいています。

昨年度、悠々教室を開催した松尾寺南地区に集落での自主的な取組について、お声かけをしたところ、このような感じで話が進みました。



仲間と楽しく健康づくりをされる松尾寺南地区の皆さん



毎週は難しいけれど、月2回くらいなら集まれるかも。やってみようか。草の根ハウスを使うなら、区長さんに相談しよう！

どうぞ、草の根ハウスを使ってください。みんなで何をしようかと話し合うことはいいことですな。



準備は誰か一人に任せるのではなく、みんなで準備しましょう。でも、自分たちだけで始められるかしら・・・。



愛荘町が作成した『びんてまり体操』をしませんか？テレビとDVDデッキがあれば大丈夫です。体操指導ができるスポーツリーダーの派遣もできますよ。



毎月第1・3金曜日の午前10時から11時半まで集まることになりました。仲間と楽しい時間を過ごしてまーす！

NOTICE

地域での取組に関心を持っていただくため、福祉課では、区長・総代会(4/17・18・19・20)、民生委員児童委員定例会(6/8)、教育民生常任委員会(6/13)で『地域共生社会』の実現に向けた、行政・自治会の取組について報告をしました。

とにかく明るく！ 2025年国スポ・障スポアーチェリー大会が愛荘町で開催されます

2025年(令和7年)に、愛荘町で第79回国民スポーツ大会(10月5日～7日)、第24回全国障害者スポーツ大会(10月26日)のアーチェリー競技が開催されるにあたり、あしろうさんをモチーフにした大会推進キャラクターが誕生しました。空を飛び回る天使に扮したあしろうさんは、誰もが自由に大会に参画するイメージを明るく発信しています。



とにかく丸ごと！ 『地域共生社会』をわかりやすく

晴れ渡る7月23日、改修工事が完了したラポール秦荘ふれあい広場で、リニューアルオープンイベントを開催しました。新しくなった公園のコンセプトは、障がいの有無や性別、年齢などに関係なくすべての人が集えることです。

ステージで障がいを持つ仲間の音楽グループ『Dドラファミリー』による楽器演奏が始まると、ドラえもんやディズニーメロデーに子どもたちも聞き入っていました。障がいのある方の文化芸術の発表の場となりました。

他にも、つくし保育園児の太鼓披露や、ブースでは愛荘町福祉コミュニティ親の会による花ポットが配布され、「みんなの願いが活かされ、安心して暮らせる心豊かな街づくりの実現をめざして」の設立趣旨を丁寧に伝えておられました。2025年に愛荘町で開催される国スポ・障スポの開催PRや町の特産品の生姜を使ったドリンク、ケーキの販売も大繁盛でした。

色々な方向から様々なあり方で、丸ごとつながる愛荘町独自の『地域共生社会』がわかりやすく発信できたイベントになりました。



NOTICE

ステージ出演：Dドラファミリー、つくし保育園ひまわり組、けんこうプール教室生の皆さん
ブース出展：愛荘町消防団、愛荘町社会福祉協議会、国スポ・障スポ開催準備室(生涯学習課)、愛荘町福祉コミュニティ親の会、Next Commons Lab 愛荘(地域おこし協力隊)、株式会社 linkworks(けんこうプール)